



「マスターマインド・ジャパン」のマンション
俺たちの定番スカルは
遂に衣食住を網羅

Photographer: MASHIKO YOSHIDAMA (focus)

SHOP INFO
マスターマインド・
ジュウバン
東京都港区東麻布2-33-12
ヴェリタス・インベストメント
0120-177-732
www.veritas-investment.co.jp

①+②+③
快適さも考慮した
秀逸デザインが魅力的

1. オートロック式のエントランスには、「スワロフスキー・エレメント」による1m四方のスカルが鎮座するラグジュアリーな仕様。2. 外観には、「マスターマインド」のプロダクトで見られる3本のラインを大胆にレイアウト。ダークグレーを基調としたシックな外装もこころしい意匠です。3. フローリングのシンプルな内装は、本間氏の居住者への配慮によるもの。各住戸の玄関には、風水に基づいたカラーラインがあしらわれます。
※家具やラグ等はイメージで、実際には付属しません。

「マスターマインド」のファンはもちろん
賢い小誌読者であれば将来の投資用としても

芝公園や六本木ヒルズにほど近い本物件は、麻布十番駅から徒歩2分という好立地も魅力的。間取りは2LDKと1Kの2種類で、室内やキッチンを上品なモノトーンで統一しています。機能的な洗面化粧台の壁面には金箔をあしらうなど、ウエア同様にハイセンスで高級感のあるクリエイション。消費者の快適さを何よりも大切にしているという、本間氏の姿勢はここでもやはり健在です。購入者には「マスターマインド・ジャパン」オリジナルのボロシャツをプレゼント。ここでしか手に入らない、ファン垂涎の貴重品です。

本間正章
mastermind JAPAN
デザイナー

活動休止まで残り3シーズンとなる、待望の春夏コレクションを今号で披露したご存知「マスターマインド・ジャパン」。10月に行われた「VERSUS TOKYO」では大トリという大役を果たし、「メルセデス・ベンツ」との驚愕のコラボレーションを発表したばかり。



ここに居る時は安らげるような
デザインにしたい

川田さんから見た「マスターマインド」の魅力は？
川田 僕、仕事ではスーツ着てますが、それ以外はもうほぼ全身マスターマインドという状態なんです。やっぱり着心地がいいし、ほぼ人とかぶらない。今日は、頑張るぞみたいなテンションになれる服っていうのは、僕の中では、マスターマインドだけなんです。自分を奮い立たせてくれるひとつの要素ですね。
——今回のデザインの特徴は？
川田 室内は結構シンプルですよ。スカルは、僕と川田さんでスワロフスキー・ジャパンの本社に行つて「こういうのができませんか？」って。それを本当に快く協力していただいて実現しました。外装も、色々な制約がある中で、ギリギリまで攻めた感じなんです。それと、すごく多忙な方でも、ここに居る時は安らげるようなデザインにしたい。その部屋の方角的に一番運氣の良い色を玄関に入れてもらったんです。人の幸せを願うって、言葉で言うのは簡単ですけど、なかなか、それを形にして残すのは難しいですね。だから、そんなことを知ってもらって、落ち込んだ時なんかには、住んでる方たちがこのマンションでちょっとでも元気になるって思ったら嬉しいですね。

川田秀樹
株式会社ヴェリタス・インベストメント
代表取締役

青山学院大学を卒業後、不動産会社に入社。前職ではNo.2として上場を経験する。その後'08年に現在の会社を設立し、代表取締役に就任。不動産業界切っのファッションブームとしても知られ、中でも、敬愛する「マスターマインド・ジャパン」のコレクションは相当数に及ぶ。



ブランドが休止しても
地図上に足跡を残したかった

——まず、お二人の出会い？
本間 初めはいつでしたっけ？
川田 「フットファウンド」をやるということになった時です。
本間 あ、そうでしたっけ。
川田 はい。それでご挨拶して、「いつかマンションを」っていう話を、その時からしました。
本間 もう4、5年前ですね。
川田 「いい場所があれば、いつかお願いします」って僕はアプローチしてたんですけど、それがようやく実現しそうなったのが1年くらい前ですね。
——本間さんは今までに多くのコラボをされていると思いますが、住居というのは初めてですよ？
本間 はい。やはり異業種とコラボさせてもらうっていうのは、自分の中でも未知の世界なので、「楽しめるかな？」っていう思いはありました。恐らく今後うちが売れるものの中で一番高い商品だと思うので、そういうのを見て、この発想をマンションに取り入れることによって、喜んでくれる人たちがたくさんいるんじゃないか、と思ったのが、今回お願いした理由です。
本間 プロデュースするにあたって「これをやった意味が、必ず後に残ってないと嫌だな」と思いました。自分のアイデアを残せないと、このプロデュースをやる意味はないかなあと。僕がこういうことやりたいって言ったことを川田さんが色々サポートしてくれて、実現させてもらいました。
川田さんから見た「マスターマインド」の魅力は？
川田 僕、仕事ではスーツ着てますが、それ以外はもうほぼ全身マスターマインドという状態なんです。やっぱり着心地がいいし、ほぼ人とかぶらない。今日は、頑張るぞみたいなテンションになれる服っていうのは、僕の中では、マスターマインドだけなんです。自分を奮い立たせてくれるひとつの要素ですね。
——今回のデザインの特徴は？
川田 室内は結構シンプルですよ。スカルは、僕と川田さんでスワロフスキー・ジャパンの本社に行つて「こういうのができませんか？」って。それを本当に快く協力していただいて実現しました。外装も、色々な制約がある中で、ギリギリまで攻めた感じなんです。それと、すごく多忙な方でも、ここに居る時は安らげるようなデザインにしたい。その部屋の方角的に一番運氣の良い色を玄関に入れてもらったんです。人の幸せを願うって、言葉で言うのは簡単ですけど、なかなか、それを形にして残すのは難しいですね。だから、そんなことを知ってもらって、落ち込んだ時なんかには、住んでる方たちがこのマンションでちょっとでも元気になるって思ったら嬉しいですね。